

平成 28 年度奈良県一斉地震行動  
(シェイクアウト) 訓練実施報告書

平成 28 年 1 月 14 日

奈良県知事公室防災統括室



## 目 次

<b>1 訓練の概要</b>	
(1) シェイクアウト訓練について	1
(2) 目的	1
(3) 訓練の特徴	1
(4) 訓練内容	2
(5) 事前の周知について	3
(6) 事前の参加登録方法	4
<b>2 実施結果</b>	
(1) 参加登録者	5
(2) 市町村別の参加登録者数	7
(3) 訓練開始の合図	9
(4) 連動した訓練の実施内容	9
(5) 訓練後の報道内容	10
<b>3 アンケート結果</b>	
(1) 実施方法	11
(2) 結果内容	11
① 参加形態	
② 訓練情報の入手先について（複数回答あり）	
③ 訓練実施場所	
④ 訓練開始の合図	
⑤ 事前学習の有無	
⑥ 次回への参加意欲	
⑦ 訓練に参加して気づいたこと	
⑧ 訓練に対する意見・要望	
<b>4 次年度実施に向けて</b>	
(1) 訓練の実施について	16
(2) 訓練の事前周知について	16
<b>資料編</b>	17
○ 参加団体一覧	
○ 啓発リーフレット	
○ 訓練の様子	

## 1 訓練の概要

### (1) シェイクアウト訓練について

2008年にアメリカで始まった地震に備える防災訓練で、ホームページなどを通じて防災の普及啓発を図り、決められた時刻に一斉に参加者全員が机の下に隠れるなど身の安全を図る行動を実践し、自宅や地域、職場などでの日頃の防災対策を確認するきっかけづくりとなる訓練である。日本では2012年に東京都千代田区で実施されたのを皮切りに、その後都道府県や市町村単位を中心に全国的な広がりをみせており、2013年には2,337,230人が参加した。奈良県としては、2014年に初めて実施し、2016年は第3回の実施となる。

### (2) 目的

県民が地震の発生を想定し、7月9日の「奈良県地震防災の日」の午前10時30分に一斉にそれぞれの場所において、地震から身を守る行動の確認を行うことにより、県民自らの防災意識を高め、防災対策に取り組む契機とすることを目的とした。

〔 2016年は7月9日が土曜日であり、多くの行政機関や学校が休みのため、  
県をはじめとする行政機関等における訓練実施は7月11日を目安とした。 〕

#### ① 県民の地震から身を守る行動の確認

地震の際の正しい安全確保行動を県民が身につけることにより、地震による死者や負傷者を減らす。

#### ② 県民の防災意識の向上

県内一斉に訓練を実施することにより、県民の防災意識を高める。また、訓練を機会とした地震・防災に関する知識の習得や避難場所・避難経路の確認、非常持出品の確認等により、各自の防災対策の強化につなげる。

#### ③ 「奈良県地震防災の日」の周知

7月9日が、平成26年4月に制定した「奈良県地域防災活動推進条例」において制定された「奈良県地震防災の日」であることを広く県民に周知する。

### (3) 訓練の特徴

訓練開始から約1分間、地震から身を守る「安全確保行動」を実施するもので以下の特徴が挙げられる。

- ① 短時間で終わり負担をかけず誰でも参加しやすい。
- ② 訓練時間の自分の置かれた状況において最善の「安全確保行動」を考え行動することにより、効果を実感できる。
- ③ 訓練により、身の回りにどのような危険が存在しているかを知るきっかけになり、地震対策の理解が深まり、知識が増える。
- ④ 学校や職場、自主防災組織等の団体で参加することにより、災害時の助け合いの大切さがわかり、自助・共助の大切さを実感できる。

#### (4) 訓練内容

本県の訓練では、「安全確保行動」の実施だけでなく、事前の防災学習や安全確保行動と連動した訓練（シェイクアウト・プラスワン）を推奨し実施した。

訓練内容の詳細は、以下のとおりである。

- ①主催 奈良県  
②協力 シェイクアウト提唱会議  
③実施日時 平成28年7月11日（月） 午前10時30分  
※7月11日（月）午前10時30分に開始できない場合は、  
「奈良県地震防災週間」（7月9日（土）～7月17日  
（日）の間）で各自実施  
④参加費 無料  
⑤参加者 行政機関、防災関係機関、学校、幼稚園・保育園、企業、  
団体、個人等  
⑥訓練内容 南海トラフを震源域とする大規模な地震の発生を想定して、訓練  
を実施。  
ア. 事前の学習  
参加者は、地震に関する知識、身のまわりの環境、安全確保行動等について自ら（組織単位や個人で）考えるとともに、当日実施する訓練内容についても、各自で計画。  
イ. 安全確保行動の実施  
参加者は、家庭、学校、事業所等で、一斉に安全確保行動（「1 DROP!=まず低く！」、「2 COVER!=頭を守り！」、「3 HOLD ON!=動かない！」等）を実施。



##### 安全行動1 姿勢を低くする (DROP)

地震の揺れに伴う転倒を防止し、その場から動かされないようにするため、姿勢を低くする。

##### 安全行動2 体や頭を守る (COVER)

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。机など隠れる場所がない場合は、手や腕、カバンや本など、身近なもので頭を守る。

##### 安全行動3 揺れが収まるまで動かない (HOLD ON)

揺れている間に動くのは危険なので、揺れが収まるまで、1分くらいその場に留まり、動かないようにする。

ウ. 安全確保行動の検証

参加者は、実施した安全確保行動等を検証し、職場等の環境整備や災害時の安全確保行動に活かす。

エ. シェイクアウト・プラスワン (+ 1)

より実践的な訓練とするために、参加者が家庭・地域・職場・学校等で、独自に安否確認訓練、初期消火訓練、避難訓練等を併せて実施するよう推奨。

## (5) 事前の周知について

---

訓練の参加啓発を図るため、県ホームページへの掲載や県民だより奈良、各種メディア等を通じ、広く県民や県内企業に対する事前周知を実施した。

① 県ホームページ

- ・5月2日から訓練に関するページを開設。
- ・啓発リーフレット、訓練方法、事前参加登録の方法、身を守る基本行動の説明、館内（校内）放送の例文及び訓練放送の音源などを掲載。
- ・『安全・安心通信』に掲載（7月8日、安全・安心まちづくり推進課）

② 県民だより奈良

- ・6月号の「インフォなら」のコーナーで紹介。

③ 新聞

- ・産経新聞（5月14日、7月6日掲載）
- ・朝日新聞（6月24日掲載）
- ・読売新聞（7月10日掲載）

④ FM放送

- ・ならどっとFM『県政ほっとライン』（6月6日・7月4日放送）
- ・FMハイホー『県政HOTインフォメーション』（6月6日・7月4日放送）

⑤ シェイクアウト提唱会議ホームページ

- ・提唱会議からシェイクアウト訓練の認定後、4月19日から奈良県の訓練に関するページを開設。

⑥ 市町村による広報

- ・広報紙に掲載（14団体）
- ・ホームページに掲載（15団体）

⑦ 駅貼りポスターの掲出

- ・県内の近鉄及びJR（27駅、6月21日～7月11日）

⑧ デジタルサイネージ

- ・県内8箇所（県庁入口・エレベーター前、奈良春日野国際フォーラム、図書情報館、スイムピア奈良、イオンモール郡山、JR王寺駅、西和医療センター、県立医大付属病院、静止画尺10秒、7月1日～7月10日放映）

⑨ Facebook・Twitter

- ・7月6日に発信

⑩ 関係団体へ周知

- ・県内市町村（防災担当課、教育委員会、福祉担当部局）
- ・防災関係団体（防災会議委員、防災訓練参加機関、ライフライン機関）
- ・国の機関（各省庁県内出先機関、裁判所、独立行政法人、特殊法人、郵便局）
- ・医療、社会福祉関係団体（医師会、社会福祉協議会、病院協会、障害者支援施設、地域包括支援センター、老人ホーム、老人保健施設、老人福祉施設協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、訪問看護ステーション協議会）
- ・商工関係団体（ものづくり協同組合、社員シャイン登録企業、建設業、建築関係団体、生活衛生関係団体、農業協同組合、農業共済組合、スポーツ団体、旅館・ホテル生活衛生同業組合ほか）
- ・学校関係（公立幼稚園、公立小中高等学校、私立幼稚園、私立小中高等学校、私立大学、県立大学、県立医科大学、国立大学、短大、専修学校、各種学校）

**(6) 事前の参加登録方法**

---

訓練の参加受付については、奈良県電子自治体共同運営システム「e-古都なら」を利用した電子申請及びFAX、Eメールにて実施した。

また、県内市町村による訓練や県庁内の訓練は、独自で県が参加受付をとりまとめるとともに、一部市町村では、管内参加登録を独自で受け付け、とりまとめのうえ県に報告した。

## 2 実施結果

### (1) 参加登録者

シェイクアウト訓練の参加登録人数は、556団体、117,899人となり、県人口の8.7%を占めた（昨年度は、707団体、137,427人、同10%）。

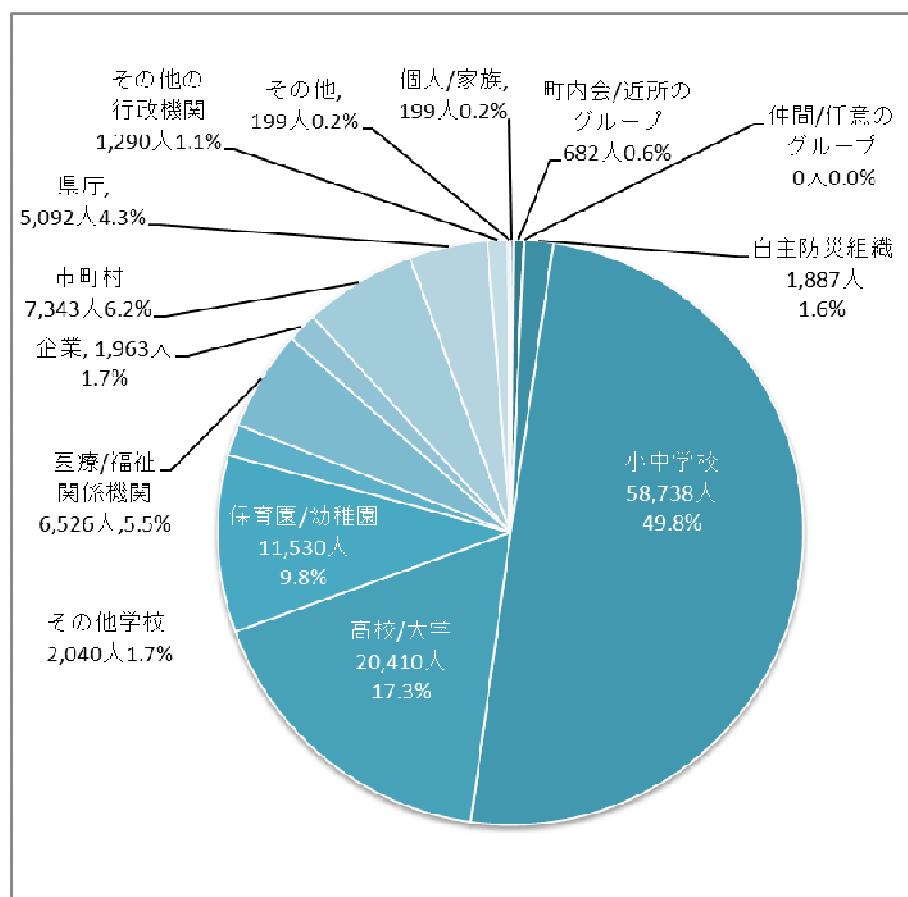
参加形態別では、小中学校58、738人で全団体の49.8%（昨年度は66,283人、同48.2%）、高校・大学20、410人で同17.3%（昨年度は20,151人、同14.7%）、保育所・幼稚園11、530人で同9.8%（昨年度は12,202人、同8.9%）と教育関係機関で70%以上を占めた。

参加団体の内訳としては、小中学校などの教育関係機関で46%を占めているが、医療福祉関係機関で66団体（11.9%）、企業で43団体（7.7%）、自主防災組織等で35団体（6.3%）の参加登録があった。

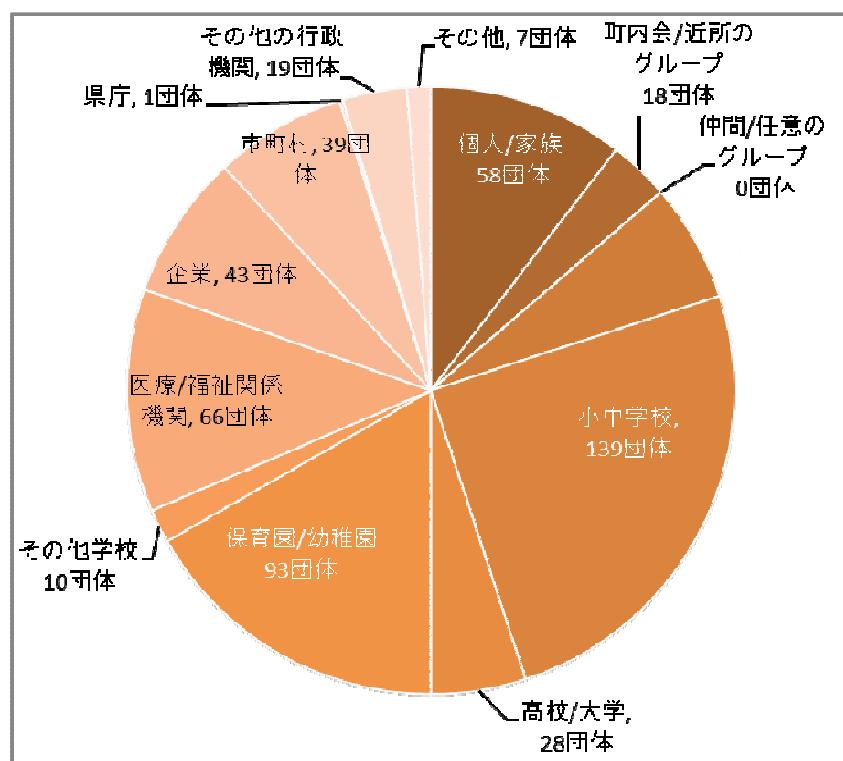
#### ▼参加登録者内訳

内訳	平成28年度		昨年度		増減	
	参加団体数(団体)、割合	参加人数(人)、割合	参加団体数	参加人数	参加団体数	参加人数
個人/家族	58 (10.4%)	199 (0.2%)	105	215	▲ 47	▲ 16
町内会/近所のグループ	18 (3.2%)	682 (0.6%)	12	538	6	144
仲間/任意のグループ	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2	103	▲ 2	▲ 103
自主防災組織	35 (6.3%)	1,887 (1.6%)	60	7,431	▲ 25	▲ 5,544
小中学校	139 (25.0%)	58,738 (49.8%)	143	66,283	▲ 4	▲ 7,545
高校/大学	28 (5.0%)	20,410 (17.3%)	31	20,151	▲ 3	259
保育園/幼稚園	93 (16.7%)	11,530 (9.8%)	95	12,202	▲ 2	▲ 672
その他学校	10 (1.8%)	2,040 (1.7%)	10	1,773	0	267
医療/福祉関係機関	66 (11.9%)	6,526 (5.5%)	97	6,133	▲ 31	393
企業	43 (7.7%)	1,963 (1.7%)	61	2,965	▲ 18	▲ 1,002
市町村	39 (7.0%)	7,343 (6.2%)	37	6,922	2	421
県庁	1 (0.2%)	5,092 (4.3%)	1	5,267	0	▲ 175
その他の行政機関	19 (3.4%)	1,290 (1.1%)	36	3,390	▲ 17	▲ 2,100
その他	7 (1.3%)	199 (0.2%)	17	4,054	▲ 10	▲ 3,855
合計	556 (100.0%)	117,899 (100.0%)	707	137,427	▲ 151	▲ 19,528

### ▼参加人数内訳



### ▼参加団体数内訳

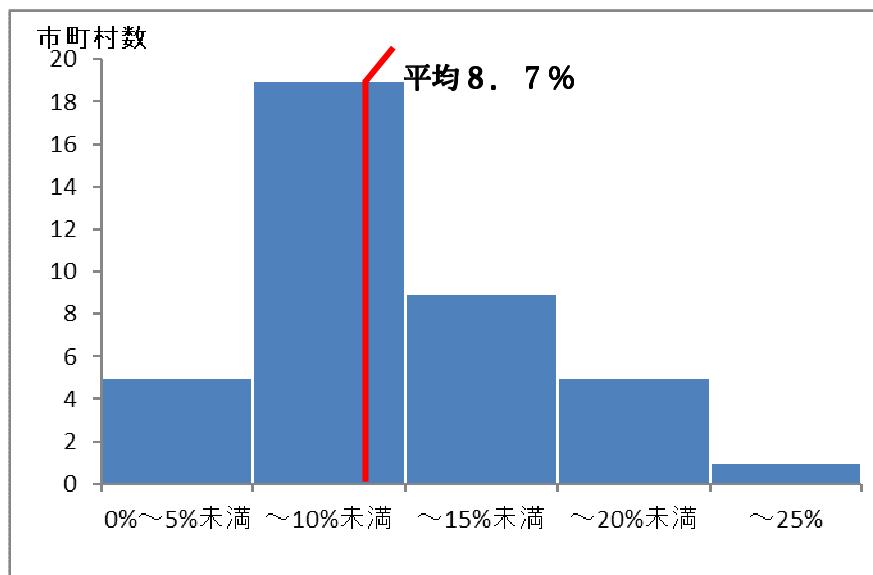


## (2) 市町村別の参加登録者数

県内市町村別の参加登録者数について、市部では、天理市、桜井市、五條市、生駒市、香芝市で人口に対する参加人数が10%を超えた。

町村部では、野迫川村で人口に対する参加人数が20%を超えたほか、斑鳩町、川西町、高取町、王寺町、広陵町、大淀町、黒滝村、天川村、上北山村で人口に対する参加人数が10%を超えた。

### ▼人口に対する参加割合別の市町村数



▼市町村別の参加登録者数内訳

	参加人数(A)	推計人口(B)	A/B	昨年度			
				参加人数	割合	増減	増減
奈良市	26,324	359,313	7.3%	48,234	13.3%	▲ 21,910	▲ 6.0%
大和高田市	2,585	64,344	4.0%	3,318	5.1%	▲ 733	▲ 1.1%
大和郡山市	5,351	86,658	6.2%	4,624	5.3%	727	0.8%
天理市	7,166	67,232	10.7%	13,567	20.1%	▲ 6,401	▲ 9.4%
橿原市	5,790	123,711	4.7%	4,203	3.4%	1,587	1.3%
桜井市	5,883	56,868	10.3%	4,579	7.8%	1,304	2.5%
五條市	3,128	30,459	10.3%	2,116	6.7%	1,012	3.6%
御所市	1,983	26,614	7.5%	2,013	7.3%	▲ 30	0.1%
生駒市	12,430	118,169	10.5%	14,476	12.1%	▲ 2,046	▲ 1.6%
香芝市	13,186	77,981	16.9%	5,521	7.1%	7,665	9.8%
葛城市	2,501	36,720	6.8%	3,861	10.6%	▲ 1,360	▲ 3.8%
宇陀市	2,045	30,546	6.7%	2,016	6.5%	29	0.2%
山添村	322	3,592	9.0%	85	2.3%	237	6.7%
平群町	965	18,783	5.1%	2,078	11.1%	▲ 1,113	▲ 5.9%
三郷町	2,329	23,509	9.9%	422	1.8%	1,907	8.1%
斑鳩町	4,345	27,246	15.9%	4,242	15.5%	103	0.4%
安堵町	513	7,422	6.9%	566	7.5%	▲ 53	▲ 0.6%
川西町	850	8,437	10.1%	1,580	18.3%	▲ 730	▲ 8.2%
三宅町	573	6,832	8.4%	968	13.8%	▲ 395	▲ 5.4%
田原本町	2,627	31,522	8.3%	3,598	11.4%	▲ 971	▲ 3.0%
曾爾村	94	1,517	6.2%	57	3.6%	37	2.6%
御杖村	25	1,709	1.5%	10	0.6%	15	0.9%
高取町	1,326	7,099	18.7%	829	11.6%	497	7.0%
明日香村	437	5,498	7.9%	114	2.1%	323	5.9%
上牧町	1,403	21,983	6.4%	1,181	5.2%	222	1.2%
王寺町	2,751	23,181	11.9%	3,535	15.4%	▲ 784	▲ 3.6%
広陵町	5,126	33,595	15.3%	4,258	12.5%	868	2.7%
河合町	1,626	17,792	9.1%	1,411	7.9%	215	1.2%
吉野町	617	7,213	8.6%	374	5.0%	243	3.5%
大淀町	2,261	17,805	12.7%	2,426	13.5%	▲ 165	▲ 0.8%
下市町	153	5,550	2.8%	125	2.1%	28	0.7%
黒滝村	114	636	17.9%	95	13.5%	19	4.4%
天川村	177	1,321	13.4%	76	5.7%	101	7.7%
野迫川村	92	430	21.4%	85	18.9%	7	2.5%
十津川村	209	3,412	6.1%	442	12.3%	▲ 233	▲ 6.2%
下北山村	65	861	7.5%	108	12.5%	▲ 43	▲ 5.0%
上北山村	49	491	10.0%	40	6.9%	9	3.0%
川上村	45	1,287	3.5%	55	4.1%	▲ 10	▲ 0.6%
東吉野村	160	1,684	9.5%	132	7.5%	28	2.0%
県外市町村	273			7			
合計	117,899	1,359,022	8.7%	137,427	10.0%	▲ 19,528	▲ 1.3%

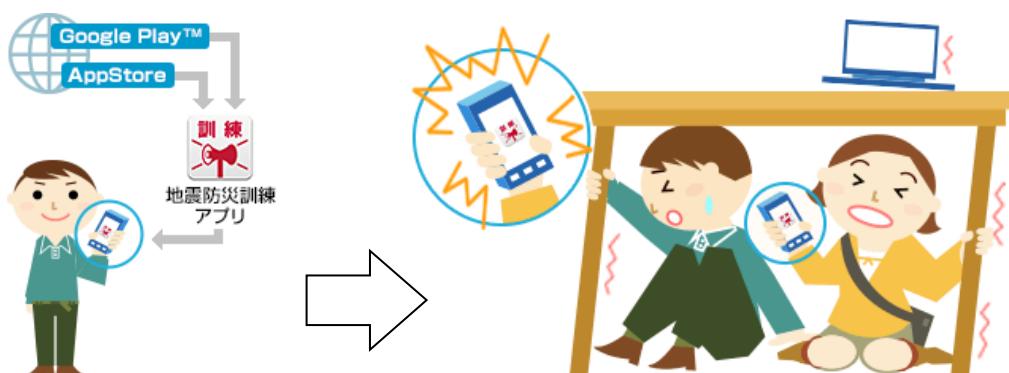
### (3) 訓練開始の合図

訓練開始の合図として、前回に引き続き「地震防災訓練アプリ」の利用を周知したところ、県内でおよそ183名の利用があった（昨年度は165名、（株）NTTドコモ調べ）。

#### ▼地震防災訓練アプリ

緊急地震速報の専用ブザー音をきっかけに避難行動をとる訓練を実施できる。

（株）NTTドコモ開発、スマートフォン用アプリ。

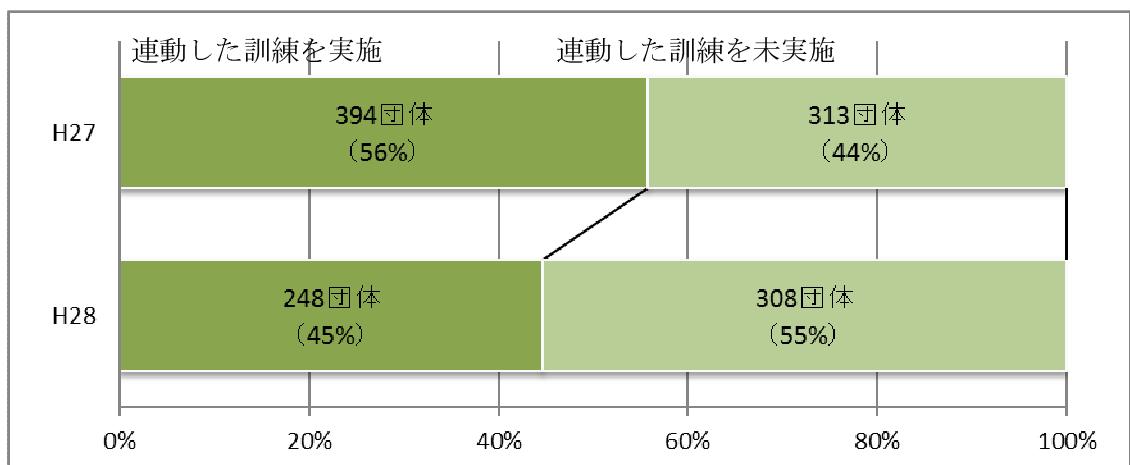


### (4) 連動した訓練の実施内容

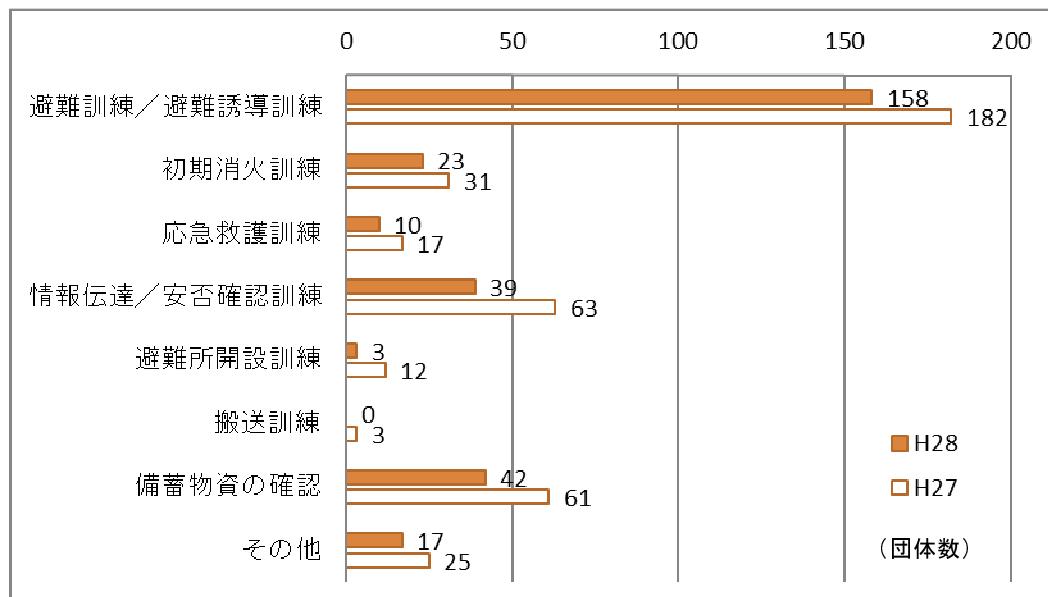
参加登録のあった団体のうち、248団体、全体の45%が、地震から身を守る安全確保行動の訓練に加え、連動した訓練（シェイクアウト・プラスワン）を実施した（平成27年度は394団体、全体の56%）。

連動した訓練の内容としては、避難訓練・避難誘導訓練や初期消火訓練、情報伝達・安否確認訓練、備蓄物資の確認などを実施した。

#### ▼連動した訓練の実施状況



### ▼連動した訓練の実施内訳（重複あり）



### (5) 訓練後の報道内容

- ① テレビ
  - 奈良テレビ『県政フラッシュ』(7/12 放送)
- ② 新聞
  - 毎日新聞 (7月12日掲載)
  - 奈良新聞 (7月12日、7月18日掲載)

### 3 アンケート結果

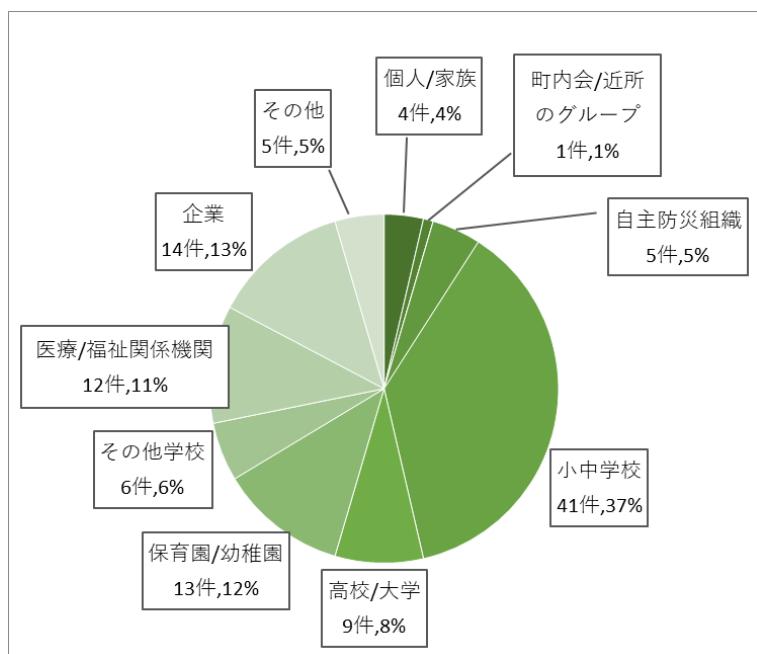
#### (1) 実施方法

参加者へのアンケートは、7月13日から8月12日までの間に、奈良県電子自治体共同運営システム「e-古都なら」を利用した電子申請にて回答を受け付けた。

質問項目は、全9項目、有効回答数は110件であった。

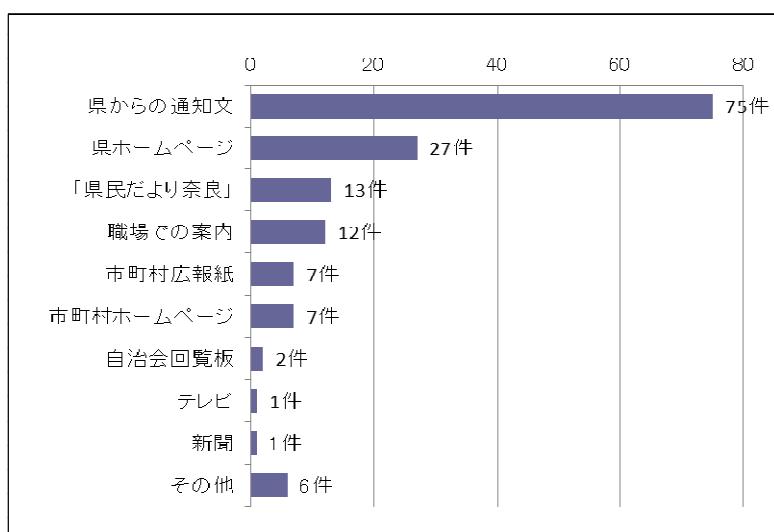
#### (2) 結果内容

##### ① 参加形態



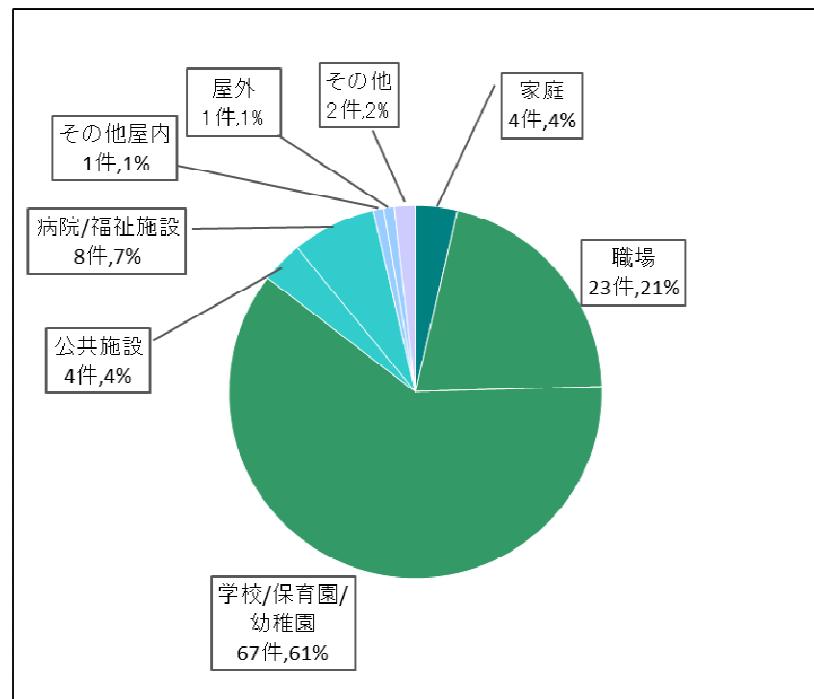
##### ② 訓練情報の入手先について（複数回答あり）

回答者のうち多くが、県からの通知文で訓練の情報を入手した（75件、全回答団体の68%）。



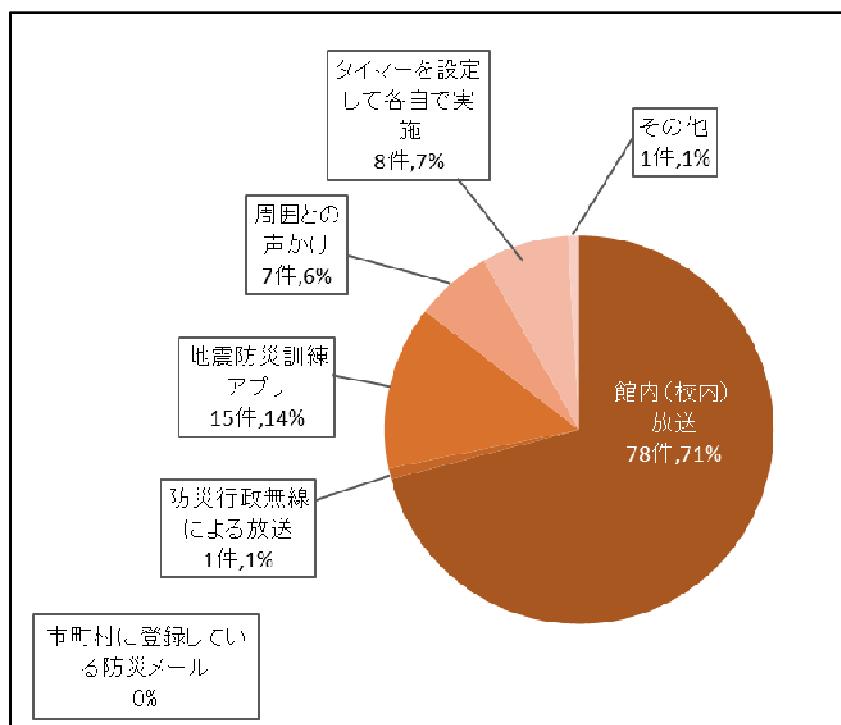
### ③ 訓練実施場所

回答者のうち多くが、「職場（21%）」や「学校/保育園/幼稚園（61%）」において訓練を実施した。



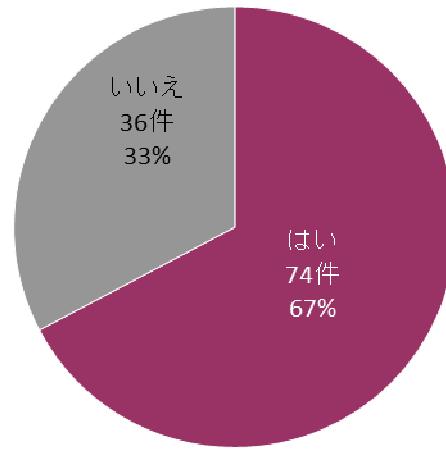
### ④ 訓練開始の合図

回答者の71%が館内（校内）放送の合図により、訓練を開始した。

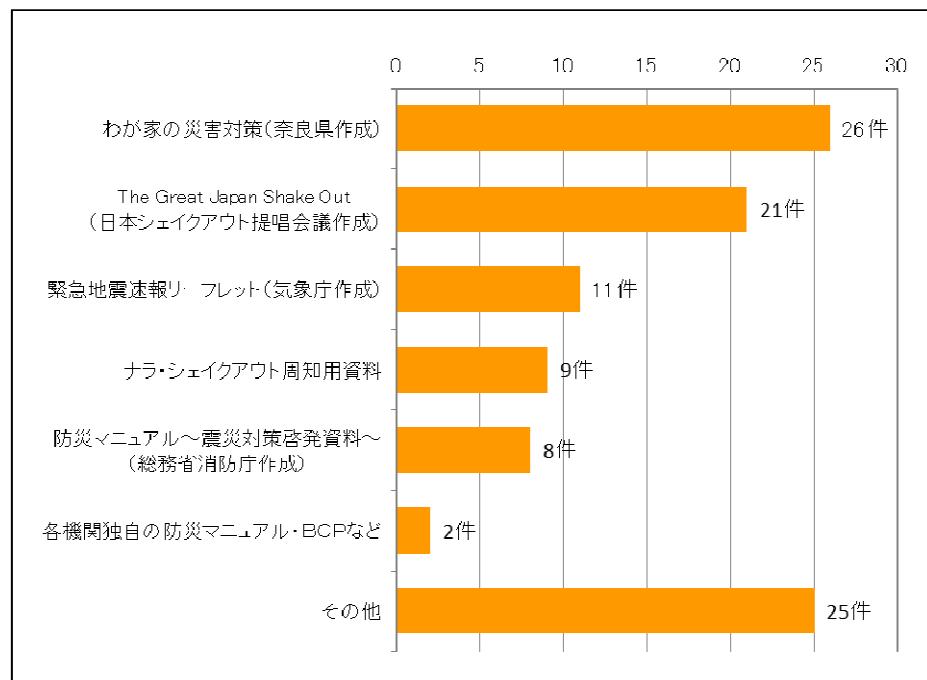


## ⑤ 事前学習の有無

訓練実施の前に、地震・防災に関する知識の習得をしたかとの問において、回答者の半数以上（60%）が事前学習を実施したと回答した。

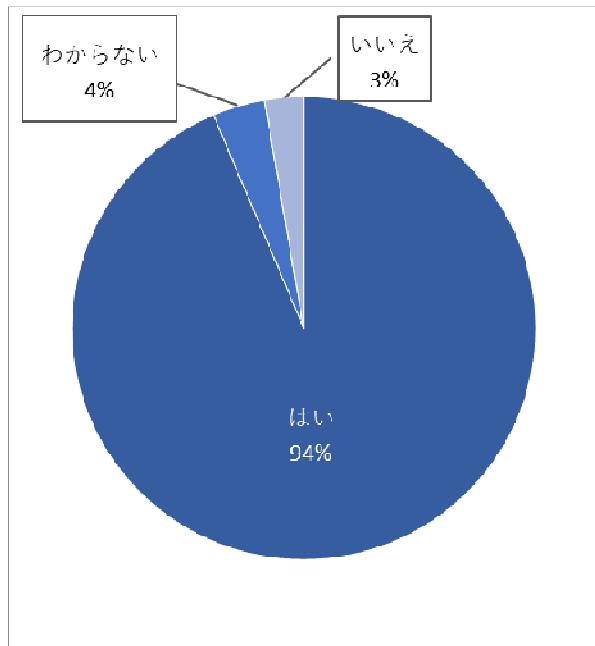


また、事前学習の際に、どのような教材を使用したかとの問に対しては、以下のとおりとなった。（複数回答あり）



## ⑥ 次回への参加意欲

回答者のうち94%が、次回も訓練に参加したいと回答した。



## ⑦ 訓練で防災について気付いたこと（主な回答を抜粋）

- ・今回の訓練では、昨年度までと違い授業中のシェイクアウト訓練ではなく、学校の校時表に沿って10時30分（20分間の業間休み）に行った。…（中略）…シェイクアウト訓練の実施時刻は教えていなかったので、業間休みで戸惑っていた子どもたちもいたが、運動場、廊下階段、教室…それぞれの場で、適切に行動してくれていた。とても有意義な訓練となった。（小中学校）
- ・訓練を継続して実施することで、児童と教職員の防災に関する意識が高まるように思う。（小中学校）
- ・二度目の参加となり、事務所内での地震行動訓練はスムーズに行うことができた。引き続き、社員全員がどんな時でも安全な行動を取れるよう学習していくたい。（企業）
- ・訓練を通じて職員同志のコミュニケーションのあり方や日ごろからの連携の重要性に気付いた。（医療/福祉関係機関）
- ・知識や行動について正しく理解をするうえで貴重な体験であると考える。また、県内一斉で行うことでも連帯感を意識出来て良いとりくみである。（高校/大学）
- ・自宅でこのような訓練はしたことがなかった。近くに子供家族や孫たちがいるので、いざという時の連絡方法、防災関係の品物確認、備蓄食料のチェックなど、改めて見直す良い機会になった。（個人/家族）
- ・備蓄倉庫のチェックもプラスαとして行ったが、在庫数や期限等を改めて確認でき、法人内で対応すべき事柄が再認識できた。（高校/大学）

- ・緊急連絡網が実際に活用できて安心感につながった。(医療/福祉関係機関)
- ・職場において、普段からあまり気にせずキャビネットの上などに物品を置いているが、地震により落ちてくることが想定することができた。(医療/福祉関係機関)
- ・訓練とは違って突然やってくる自然災害の際、園児の在園中にどのように職員や園児に情報を伝えるかという問題点が浮き彫りとなった。(保育園/幼稚園)
- ・防災マニュアルはあっても、絵に描いたもののようになってしまわないために、年に1回は訓練が必要である。(小中学校)
- ・弊社では、就業時間内は外出しているものが大半であり、災害時には携帯電話はつながりにくくなることが想定されるので、どのような方法でより早く安否確認を行うのという課題があることが分かった。(企業)
- ・体を低くして頭を守るという動きができない利用者ばかりだということが改めて分かった。(医療/福祉関係機関)

## ⑧ 訓練に関する感想や意見（主な回答を抜粋）

- ・簡単で、効果的で、職員の負担感が少なくとても良い取組。(高校/大学)
- ・どこででも簡単に行うことができる訓練なので、最低限の意識づけとして毎年継続し、さらに事前・事後学習を今後充実させていきたい。(小中学校)
- ・実際に地震が起こった時のことを職員全員が実感でき、マニュアルや緊急連絡網の見直しをするよい契機となった。(医療/福祉関係機関)
- ・南海・東南海地震の可能性の高さから、災害時にはどのように行動するのか一人一人が訓練を通じて適切に対応出来るよう、今後も定期的に訓練を行っていくことが必要だと感じた。(企業)
- ・なんの心構えもないままに災害に遭遇すると、訓練により多少の心構えがある場合とでは行動に違いが出ると感じた。今後もこのような機会があれば参加し、万一の際は社員が迅速に、且つ、適切な行動がとれるようにしていきたいと思う。(企業)
- ・昨年度に実施されたシェイクアウトの結果を見ると、現場でも訓練を実施されていたので、弊社の現場事務所でも同様にシェイクアウト参加を計画し実施した。(企業)
- ・教職員、保護者の防災意識を高める研修や啓発が必要。(保育園/幼稚園)
- ・毎年実施している訓練ではあるが、特に園児の安全・命を守るために、いろいろな場合を想定した訓練がもっとたくさん必要であると改めて感じた。(保育園/幼稚園)
- ・大きな地域での防災訓練は、地域の連帶を作るきっかけになるので今後も続けて行ってほしい。(医療/福祉関係機関)

## 4 次年度実施に向けて

### (1) 訓練の実施について

- ・今後も、毎年7月9日「奈良県地震防災の日」に継続してシェイクアウト訓練を実施することにより、県全体の広がりをもって地震への備えをし、地震発生時の被害者を減らすこと及び災害に強い奈良県となることを目指す。

### (2) 訓練の事前周知について

- ・一般的な周知については、早期に実施することにより県民の認知度を高め、参加登録に結びつけていく。
- ・なお、今年度は、事前周知の期間のうち4月から6月頃に熊本地震への対応・支援を行っていたため、十分な周知ができなかつた。一部の市町村において、十分な準備ができなかつたところもある。
- ・来年度は、この時期の周知をより積極的に行い、参加者の増加を図りたい。
- ・また、行政機関はもとより学校や民間企業への広がりのため、働きかけの方法を引き続き工夫していきたい。

# 資料編

## ○参加団体一覧（順不同。所在地及び団体名）

### 【自主防災組織、町内会/近所のグループ、仲間/任意のグループ】

奈良市	ルネ新大宮 法蓮西町第6自治会	伏見地区自主防犯防災協議会
天理市	櫟本町市場	平等坊町 9組
	櫟本町膳史自治会	中町自治会
	西長柄町自主防災会	丹波市北自主防災組織
	庵治町青垣自治会	別所町自主防災組織
	竹之内町自主防災組織	若葉自治会
	平等坊町自主防災組織	川原城町西自主防災組織
	川原城町北自主防災組織	たしばな自治会
	新泉町新町自主防災組織	藤井町自主防災組織
	田町西部自主防災組織	田町東部自主防災組織
橿原市	新中町自治会・防災会	
生駒市	新旭ヶ丘自治会	さつき台自治会
	小瀬町自治会	北新町自主防災会
	さつき台南自主防災会	あすか野防犯防災会
	東菜畑一丁目自主防災会	緑ヶ丘自主防災会 自治会
	獅子ヶ丘自主防災	壱分南自治会自主防災会
	真弓自主防犯防災会	美鹿の台・自主防災会
王寺町	イトーピア葛下台自治会	美しヶ丘自主防災会
広陵町	ふれあいクラブ(地域サロン活動)	
河合町	泉台自主防災会	
上牧町	服部台自主防災会	

他、参加を公表しない14団体

### 【小中学校】

奈良市	奈良市立三碓小学校 奈良市立二名小学校 奈良市立平城小学校 奈良市立伏見小学校 奈良市立大安寺小学校	奈良市立富雄北小学校 奈良市立右京小学校 奈良市立伏見南小学校 奈良市立並松小学校 奈良市立椿井小学校
大和高田市	大和高田市立浮孔小学校	
大和郡山市	大和郡山市立片桐小学校 大和郡山市立平和小学校 大和郡山市立郡山西小学校	大和郡山市立片桐西小学校 大和郡山市立郡山北小学校 大和郡山市立矢田南小学校
天理市	天理市前裁小学校	天理市立柳本小学校

天理市	天理市立二階堂小学校 天理市立櫟本小学校	天理市立福住小学校 天理市立朝和小学校
橿原市	橿原市立白橿北小学校	
桜井市	桜井市立安倍小学校	桜井市立桜井小学校
	桜井市立桜井南小学校	桜井市立三輪小学校
	桜井市立纏向小学校	桜井市立朝倉小学校
	桜井市立大福小学校	
御所市	御所市立掖上小学校	御所市立名柄小学校
	御所市立大正小学校	御所市葛小中学校
生駒市	生駒市立あすか野小学校	生駒市立桜ヶ丘小学校
	生駒北小学校	生駒市立鹿ノ台小学校
	生駒市南小学校	
香芝市	香芝市立三和小学校	香芝市立鎌田小学校
	香芝市立志都美小学校	香芝市立真美ヶ丘西小学校
	香芝市立真美ヶ丘東小学校	香芝市立閑屋小学校
	香芝市立 旭ヶ丘小学校	香芝市立二上小学校
	香芝市立五位堂小学校	香芝市立下田小学校
	智辯学園奈良カレッジ小学部	
葛城市	葛城市當麻小学校	葛城市立新庄北小学校
	葛城市立忍海小学校	葛城市立新庄小学校
宇陀市	宇陀市立榛原東小学校	宇陀市立菟田野小学校
平群町	平群町立平群北小学校	
斑鳩町	斑鳩町立斑鳩東小学校	斑鳩町立斑鳩小学校
	斑鳩町立斑鳩西小学校	
安堵村	安堵町立安堵小学校	
川西町	川西町立川西小学校	
三宅町	三宅小学校	
田原本町	田原本町立田原本小学校	田原本町立東小学校
	田原本町立北小学校	田原本町立南小学校
	田原本町立平野小学校	
曾爾村	曾爾村立曾爾小学校	
王寺町	王寺北小学校	王寺町立王寺小学校
広陵町	広陵町立広陵西小学校	広陵町立広陵東小学校
	広陵北小学校	広陵町立真美ヶ丘第一小学校
河合町	河合町立河合第三小学校	河合町立河合第二小学校
	河合町立河合第一小学校	
大淀町	大淀町立大淀緑ヶ丘小学校	大淀桜ヶ丘小学校

大淀町	大淀希望ヶ丘小学校	
天川村	天川村立天川小学校	
野迫川村	野迫川小・中学校	
下北山村	下北山村民立下北山小学校	
上北山村	上北山小中学校	
三郷町	三郷町立三郷北小学校	三郷町立三郷小学校
上牧町	上牧町立上牧第二小学校	
高取町	高取町立 たかむち小学校	
東吉野村	東吉野村民立東吉野小学校	
山添村	山添村民立やまぞえ小学校	
吉野町	吉野町立吉野北小学校	吉野町立吉野小学校

奈良市	奈良市立平城中学校	
大和郡山市	郡山南中学校	郡山東中学校
	大和郡山市立片桐中学校	
天理市	天理市立北中学校	天理市立南中学校
	天理市立西中学校	
桜井市	桜井市立桜井中学校	桜井市立桜井西中学校
	桜井市立桜井東中学校	
五條市	智辯学園中学校	
御所市	御所市立御所中学校	御所市立葛上中学校
生駒市	生駒市立生駒中学校	生駒市鹿ノ台中学校
	生駒南中学校	
香芝市	香芝中学校	香芝西中学校
	香芝市立香芝北中学校	
葛城市	葛城市立白鳳中学校	
山添村	山添村民立山添中学校	
平群町	平群町立平群中学校	
三郷町	三郷町立三郷中学校	
斑鳩町	斑鳩町立斑鳩中学校	斑鳩町立斑鳩南中学校
安堵村	安堵町立安堵中学校	
川西町	川西町・三宅町式下中学校組合立式下中学校	
曾爾村	曾爾村立曾爾中学校	
明日香村	明日香村立聖徳中学校	
上牧町	上牧町立上牧中学校	
王寺町	王寺町立王寺南中学校	
広陵町	広陵町立真美ヶ丘中学校	広陵町立広陵中学校

河合町	河合町立河合第一中学校	河合町立河合第二中学校
大淀町	大淀町立大淀中学校	
天川村	天川村立天川中学校	
東吉野村	東吉野中学校	
十津川村	十津川村立十津川中学校	

他、参加を公表しない4団体

### 【高校/大学】

奈良市	東京藝術大学美術学部附属古美術研究施設	
	学校法人白藤学園	奈良大学附属高等学校
	奈良県立奈良高等学校	奈良県立平城高等学校
	奈良県立高円高等学校	
大和高田市	奈良県立高田高校	
天理市	奈良県立二階堂高等学校	飛鳥未来高等学校
橿原市	奈良県立畝傍高等学校	奈良県立橿原高等学校
	公立大学法人 奈良県立医科大学	
桜井市	奈良県立奈良情報商業高等学校	奈良県立桜井高等学校
五條市	奈良県立五條高等学校(全日制)	奈良県立五條高等学校(賀名生分校)
	智辯学園高等学校	
御所市	県立青翔高等学校・青翔中学校	
生駒市	奈良県立生駒高等学校	奈良県立奈良北高等学校
香芝市	奈良県立香芝高等学校	
宇陀市	奈良県立大宇陀高等学校	
斑鳩町	法隆寺国際高等学校	
高取町	高取国際高等学校	
王寺町	県立王寺工業高等学校	
吉野町	奈良県立吉野高等学校	
広陵町	奈良県立大和広陵高等学校	畿央大学

他、参加を公表しない〇団体

### 【保育園/幼稚園】

生駒市	大和高田市立天満保育所	
	宝山寺福祉事業団 いこま保育園	登美ヶ丘駅前ピュア保育園
	北倭保育園	学研 まゆみ保育園
	生駒台幼稚園	生駒市南こども園
	生駒市立中保育園	生駒市立ひがし保育園
	もり保育園	鹿ノ台佐保保育園

生駒市	生駒市立小平尾保育園 ソフィア東生駒保育園 本園 うみ保育園	ソフィア東生駒保育園 分園 宝山寺福祉事業団あすかの保育園
香芝市	香芝市立二上保育所 香芝市立五位堂保育所 香芝市立真美ヶ丘保育所	香芝市立若葉保育所 香芝市立みつわ保育所 あけぼの・保育学院
宇陀市	宇陀市立室生こども園 宇陀市立菟田野保育所	宇陀市立榛原北保育園
斑鳩町	斑鳩町立たつた保育園	斑鳩町立あわ保育園
高取町	社会福祉法人 朱鳥会 たかとり保育園	
御所市	御所市立葛城保育所	
王寺町	片岡の里保育園	
明日香村	明日香保育園	
野迫川村	野迫川村保育所	
黒滝村	黒滝村立黒滝こども園	
東吉野村	東吉野こども園	

奈良市	いさがわ幼稚園 奈良育英幼稚園	愛染幼稚園 学園前ネオポリス幼稚園
大和郡山市	大和郡山市立矢田幼稚園 大和郡山市立平和幼稚園	大和郡山市立昭和幼稚園
天理市	天理市立柳本幼稚園 天理市立丹波市幼稚園 天理市立井戸堂幼稚園	天理市立櫟本幼稚園 天理市立朝和幼稚園 天理市立櫟本幼稚園
橿原市	常磐幼稚園	
桜井市	桜井市立三輪幼稚園	桜井市立安倍幼稚園
香芝市	香芝市立旭ヶ丘幼稚園 香芝市立三和幼稚園 学校法人ハルナ学園 ハルナ幼稚園 香芝市立鎌田幼稚園 香芝市立五位堂幼稚園	香芝市立志都美幼稚園 香芝市立二上幼稚園 香芝市立下田幼稚園 香芝市立閑屋幼稚園 学校法人誠華学園せいか幼稚園
生駒市	奈良佐保短期大学附属生駒幼稚園 生駒市立あすか野幼稚園	エンゼル幼稚園 白百合幼稚園
宇陀市	宇陀市立榛原東幼稚園 宇陀市立大宇陀こども園	宇陀市立榛原幼稚園
斑鳩町	斑鳩町立斑鳩幼稚園 斑鳩町立斑鳩東幼稚園	斑鳩町立斑鳩西幼稚園

田原本町	田原本町立東幼稚園	田原本町立北幼稚園
	田原本町立平野幼稚園	田原本町立南幼稚園
	田原本町立田原本幼稚園	
上牧町	片岡台幼稚園	
王寺町	王寺町立王寺幼稚園	王寺町立王寺南幼稚園
広陵町	広陵町立広陵西幼稚園	
河合町	河合町立河合幼稚園	西大和双葉幼稚園
三郷町	三郷町立南畠幼稚園	
大淀町	大淀西部幼稚園	大淀東部幼稚園
明日香村	明日香村立明日香幼稚園	

他、参加を公表しない9団体

#### 【その他学校】

奈良市	奈良県立奈良養護学校整肢園分校	学校法人青丹学園 関西学研医療福祉学院
	奈良県立奈良西養護学校	
大和郡山市	奈良県立盲学校	奈良県立ろう学校
天理市	奈良県立二階堂養護学校	
橿原市	奈良県病院協会看護専門学校	
三郷町	奈良県立病院機構看護専門学校 三室校	ハートランドしげさん看護専門学校
田原本町	奈良県立高等養護学校	

他、参加を公表しない0団体

#### 【医療/福祉関係機関】

奈良市	奈良市春日・飛鳥地域包括支援センター
	(公社)奈良県栄養士会
	社会福祉法人 奈良苑
	医療法人 清和会 介護老人保健施設サンライフ奈良
	奈良市つどいの広場ノル
	奈良市つどいの広場ぶらんぶらん
	社会福祉法人恩賜財団 済生会奈良病院
	奈良リハビリテーション病院
	医療法人 あすか会
	社会福祉法人 大和まほろば会
	奈良市地域子育て支援センターsaya
	社会福祉法人 佐保会 軽費老人ホーム 佐保苑
	特別養護老人ホームトマトホーム
	医療法人財団北林厚生会 五条山病院
	医療法人 北寿会

奈良市	社会福祉法人 晃宝会 特別養護老人ホームあじさい園 社会福祉法人大和会 都祁すずらん苑
大和高田市	社会福祉法人 青垣圓 社会福祉法人 太樹会 和里(にこり) 特定非営利活動法人 生活支援センターもちつもたれつ
大和郡山市	社会福祉法人 大和郡山市社会福祉協議会 医療法人厚生会奈良厚生会病院 社会福祉法人 博遊会 ケアハウスマトホーム 特別養護老人ホーム 大和園平和 みんなの広場 らんまん
天理市	社会福祉法人 大和清寿苑 清寿苑 天理市北部地域包括支援センター 生活介護事業所あおぞら
橿原市	橿原市社会福祉協議会 奈良県社会福祉総合センター 指定管理者 社会医療法人 平成記念病院 介護老人保健施設 リンク橿原 社会福祉法人 うねび会 平成まほろば病院 ナーシングヘルスケア株式会社 訪問看護ステーションうねび 社会福祉法人 三養福祉会 特別養護老人ホーム 橿原の郷 株式会社ビュータイクラフト弥生 ケアクラフト弥生 一般社団法人奈良県病院協会
桜井市	(医)社団岡田会 介護事業部(やまのベグリーンヒルズ・デイサービスやまのべ・やまのベオレンジヒルズ) 社会福祉法人 大和桜井園 介護老人保健施設 シルバーケアまほろば
五條市	社会福祉法人三寿福祉会 介護老人福祉施設 友喜苑 特別養護老人ホーム 祥水園 社会福祉法人 祥水園 社会福祉法人 正和会
御所市	社会福祉法人 仁南会 さうす国見 社会福祉法人 仁南会 国見苑 社会福祉法人三寿福祉会 介護老人福祉施設 友幸苑
生駒市	社会福祉法人 和貴会 スロー・ライフ生駒
香芝市	地域密着型特別養護老人ホーム 和里(にこり)香芝 特別養護老人ホーム すばる
宇陀市	社会福祉法人 心境荘苑

宇陀市	宇陀市大宇陀特別養護老人ホームラガール 社会福祉法人豊生会 ゆあほうむ榛原
下市町	社会福祉法人 下市町社会福祉協議会
田原本町	社会福祉法人 一寿会 グループホーム 磯城
大淀町	社会福祉法人綜合施設美吉野園 わーくさぼーとPono 社会福祉法人綜合施設美吉野園 吉野学園 社会福祉法人綜合施設美吉野園 老人寮・特養寮・本部 障害者支援施設大淀園

他、参加を公表しない5団体

### 【企業】

奈良市	大阪ガス株式会社奈良事務所 竹村電気株式会社 株式会社ひまわりの会 株式会社明新社 奈良県農業協同組合 本店 市民生活協同組合 ならコーポ 日本郵便株式会社 奈良中央郵便局 大柳生郵便局 ホテル日航奈良 管理部 WHG 関西(株) ホテルフジタ奈良 藤原電気工業株式会社 福井水道工業株式会社 板谷一郎税理士事務所 ホテルアジール・奈良 ホテルアジール・奈良 アネックス 日本たばこ産業株式会社 奈良支店 株式会社 松田組 関西電力 奈良支社
	大和ガス株式会社 松田電気工業株式会社 株式会社堂本組
	日進電工株式会社 株式会社ウォーターエージェンシー奈良管理所奈良中部 ウォーターエージェンシー 明電舎 栗田機械製作所 共同企業体
	西日本旅客鉄道株式会社 八木保線区 株式会社和田エンジニアリング

桜井市	桜井ガス株式会社 上之郷郵便局 日本郵便株式会社 朝倉郵便局
桜井市	桜井戒重郵便局 株式会社中和コンストラクション
御所市	至誠堂製薬株式会社
五條市	白銀郵便局
香芝市	ハッピープロダクツ株式会社
下市町	秋野郵便局
天川村	株式会社 車谷建設 株天の川郵便局 和田郵便局
黒滝村	黒滝村郵便局

他、参加を公表しない4団体

#### 【その他】

奈良市	公益財団法人 奈良県消防協会 奈良市つどいの広場 マザーリーフ 一般財団法人なら建築住宅センター 児童発達支援 放課後等デイサービス のんたん
大和高田市	一般財団法人なら建築住宅センター 中和支店
吉野町	NPO法人吉野スポーツクラブ

他、参加を公表しない1団体

#### 【地方公共団体】

奈良県、奈良市、大和高田市、大和郡山市、橿原市、天理市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、山添村、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村、
---

#### 【その他の行政機関】

奈良市	国土交通省 奈良国道事務所 自衛隊奈良地方協力本部 航空自衛隊 幹部候補生学校 奈良障害者職業センター 奈良地方気象台 公益財団法人 奈良県消防協会
-----	---

奈良市	関西電力 奈良支社
生駒市	一般財団法人生駒市体育協会 生駒市議会 生駒市消防本部
生駒市	生駒市消防団
天理市	天理市教育総合センター
橿原市	宮内庁畝傍御陵墓監区事務所
宇陀市	独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所室生ダム管理所
大淀町	大淀労働基準監督署
斑鳩町	斑鳩町立図書館 いかるがホール
河合町	河合町地域包括支援センター
下市町	下市職業安定所
県外市町村	陸上自衛隊 第4施設団本部 本部付隊 第7施設群

他、参加を公表しない3団体



## ○訓練の様子

香芝市立五位堂幼稚園



同左（避難の様子）



智辯学園奈良カレッジ小学部



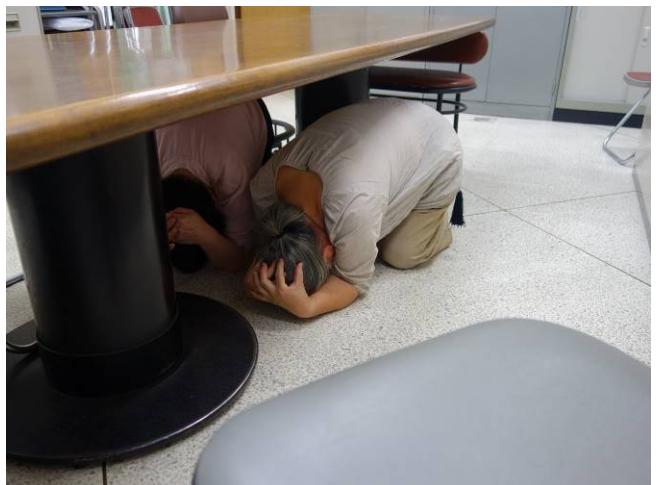
香芝市立閑屋幼稚園



株式会社ウォーターエージェンシー



竹村電気株式会社



(特非) 生活支援センターもちつもたれつ



同左 (学習の様子)



奈良県社会福祉協議会（貸会議室利用者）



同左 (心肺蘇生法の簡易講習)



大字陀特別養護老人ホームラガール



奈良県立王寺工業高等学校



集会所での訓練の様子



田原本町立東小学校



奈良市立平城中学校



奈良県庁防災統括室（初動対応訓練の様子）

